



飛島につきましては、系統規模が小さいことから、系統連系に係る申込みは、個別に検討、協議させていただきます。

- 凡例
- 66kV 送電線
  - 33kV以下 送電線
  - 変電所
  - 開閉塔
  - 送電線(他社)
  - 変電所(他社)
  - 発電所
- 黒：空容量あり  
緑：空容量がないが、N-1電制により連系が可能となる見込みの電力設備  
赤：空容量がなく、かつN-1電制適用不可など連系にあたり設備対策工事が発生する見込みの電力設備  
青：ノンファーム型接続が必要になる系統※
- ※ノンファーム型接続が必要になる系統であっても、別途N-1電制が必要となる場合があります。

<注意事項>

- 送電線の空容量は、同一送電線においても連系点によって異なる場合があるなど、連系点が定まらない状況で正確な空容量を算定することはできません。このため、本図における空容量の有無は目安であり、ご希望の連系点によっては、空容量が増減する可能性があるため、送電システムへの接続を希望される場合には、接続検討をお申込みいただき、その検討の中で連系点に応じた空容量を精査した上で、必要な対策を回答いたします。
- 原則として熱容量に基づく空容量の有無を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- 青色、緑色、赤色個所は空容量が不足しているため、発電設備等の連系にあたり、原則対策工事が必要となる設備となります。このうち青色個所はノンファーム型接続、緑色個所はN-1電制適用により発電設備の連系が可能となります。ただし、青色、緑色、赤色個所以外において、連系制約が発生しないことを保証するものではありません。接続検討をお申込みいただき、その検討の中で適用にあたっての諸条件を確認の上、回答いたします。また、赤色で表示している設備は、接続検討の結果、ファームでの接続が可能となる場合があります。
- 暫定的な系統容量の確保は、不備のない契約申込み書類を受付けた日となりますが、公表している空容量は契約申込みの書類不備解消を確認してから算定しております。

このため、空容量以下の容量の系統連系を希望される場合であっても、上位系統の送変電設備の増強工事が必要となる場合があります。増強工事内容については、接続検討にて検討を行い回答いたします。